

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report
No.230
Oct, Nov, Dec, 2005

JID news

JID月報：通巻230号
平成17年10月・11月・12月号
発行日：平成17年12月20日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：川上玲子

社団法人日本インテリアデザイナー協会

目次

巻頭：IFI総会報告

平成17年度 第2回正・副理事長会議報告	2
委員会報告(交流委員会)(情報委員会)	5・6
// (選考委員会)	8
// (総務委員会)	9
トピックス	9・10
支部活動報告(関東事業支部)	11
// (中部事業支部)	12
// (関西事業支部)	13
事務局からのお知らせ／新会員紹介	14

「JID会員ワーク集2006」
編集委員会からのお知らせ……7



本部交流委員会 委員長 小野 由記子

IFI(国際インテリアデザイナー団体連合)の総会は、隔年毎に選定された参加国で開催されています。今年は第22回の総会が、9月29日、30日にデンマークのコペンハーゲンで開かれました。

日本を代表するJIDからは、本部交流委員会委員長の小野由記子と同委員の酒井正人が出席してまいりました。会場はBella Centerの大会議室。今回参加した国は21ヶ国。ちなみに現在IFIに正会員として加盟しているのは32ヶ国です。(ヨーロッパ17カ国、アジア太平洋12カ国、アフリカ1カ国、南アメリカ2カ国)今回のIFIは、第一回開催地であるコペンハーゲンに

戻って催されたため、歴代の理事長も列席されるなど、祝祭的な華やいだ雰囲気がありました。歴代の理事長たちの紹介とスピーチはIFIの設立の目的とその活動の歴史を知る上でも大変面白いものでした。アジアの加盟国の活発な動きも目立ちました。

また今回、IFI総会に先立ち、Era05(IFI、ICSID 国際インダストリアルデザイン団体協議会、ICOGRADA 国際グラフィックデザイン協議会の3団体が6年に一度開催する合同会議)の一連のプログラムが、9月22日～28日にかけて北欧の4都市で同時開催されました。小野、酒井はこちらにも一部参加しました。関連記事は、本部交流委員会報告ページをご覧ください。

正・副理事長会議

平成17年度 第2回正・副理事長会議

(理事会代行)

日時：平成17年11月25日(金) 15:00～17:30

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE 会議室

出席：理事長 川上玲子

副理事長 小宮容一、阪井良種

事務局長 峰尾武

川上理事長が議長となり議事に入った。

I 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- [2] 平成18～19年度役員・選考委員開票報告及び
新役員予定者名簿の提示
- [3] 平成17年度収支状況報告(10月末)
- [4] その他
 - 1. 財務運営資金繰り
 - 2. 予算編成スケジュール
 - 3. 会員異動状況

II 検討事項

- [1] 新役員予定者会議開催の件

III 議題

第1号議案 後援・協賛名義承認の件

第2号議案 会員入退会承認の件

その他

- 1. 公益法人改革の動き(スケジュール)及び公益法人
の実態等に関するアンケートについて
- 2. 「新日本様式」協議会に関する件
- 3. D-8関係

I 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部

1. 事業委員会

10月2日、11月6日の2回セミナープロジェクト第4
回キラリと光るリフォームセミナー OZONE 8階セミナ
ールームで実施 14:00～16:30 参加費無料。

11月12日市町村支援事業、結城市において商工
会議所及び地元建築家との懇談会出席、今後の動
向を見守ることとした。

2. 研究委員会

11月8日第5回研究委員会合同会議実施。11月

16日第6回研究プロジェクト合同会議実施、卓子の
データ収集について小委員会役割分担に基づき各々
開催。

3. 総務・組織委員会

JID パートナース関東プロジェクト、11月7日 Meet
the world スイス編を賛助会員アイデックショールーム
で開催。

予定として、12月5日第3回トレンドセミナーを賛助会
員セラトレーディングで実施予定、講師は同社。

ACT 関東、11月22～25日 IFFT 国際家具見本市
に7名9点を出展。参加者が少ないことと存続を含
め今後の課題。

4. 交流委員会

手作り体験プロジェクト、10月23日、11月6日アルミ
鋳物制作を2回に分けて実施。その他11月28日
施設見学会を実施予定。

5. 17年度第5回委員長他役員会議を実施

- 1) 18年度事業計画を次回までに各委員会で作成発表。
- 2) 50周年事業について実質には本部と支部との共同
となる見通しから、早い段階での意見交換、合同作
業等理事会に要望。

- 3) 今回の支部長選挙、3選の結果について意見交換、
及びビデオカメラ購入を報告。

その他、下島資子事業委員長が急逝、支部より葬
儀に献花。

◆中部事業支部

- 1. 9月12日第2回中部インテリア連絡会(仮称)打合会
出席(小宮、安藤、木辺)

- 2. 10月20～23日名古屋デザインウィーク(名古屋市姉
妹都市トリノデザイン展)及びデザイナーズウィーク in
NAGOYA(名古屋テレビ塔)

- 3. 10月20日、10月度役員会・連絡会を関東会員岩倉
榮利氏の「家具の力」展会場で実施、ACT中部メン
バーと20名の学生と交流、岩倉さんにいろいろお話
を聞いた。

- 4. UDM セミナー「生活者視点で考えるこれからのマンシ
ョンのあり方」セミナー茂木弥生子氏・内装材の色。
形の調和への試み(中部インテリア4団体後援)名古屋
松下電器S・R、報告(安藤、小宮)

- 5. 11月10日、第3回中部インテリア連絡会(サンゲツ)
に出席(小宮、安藤、小林、木辺)

6. 今後の予定

11月28日(月)11月度役員会・連絡会開催予定。

12月19日(月)12月度連絡会開催予定。

1月16日(月)1月度役員会・連絡会及び新年会・
ACT中部交流会を予定。

1月19日、第4回中部インテリア連絡会を予定。

◆関西事業支部

1. 総務部会

9月21日～25日、平成18・19年度支部役員選挙に伴い、選挙管理委員会において選挙を実施。10月31日(月)平成17年度第4回支部運営部会開催、メンバー8名と事務局高尾氏。11月4日(金)役員選挙開票、出席者、選挙管理委員会委員長及び委員。

2. 組織部会

9月10日(土)「第5回企業における新製品、重点商品説明会」及び交流会開催、大光電気(株)ショールーム。

3. 情報部会

9月20日(月)編集会議開催。10月1日(金)「ECHO」27号発行。その他「関西通信」配信。

4. 研究・発表部会

10月14日(金)小学校におけるインテリア実験実習「灯りを楽しむ」実施。(堺市立錦西小)

10月25日(火)小学校におけるインテリア実験実習「自分の好きな部屋を作ろう」実施。(大阪市立北中道小)

10月27日(木)小学校におけるインテリア実験実習「灯りを楽しむ」実施。(大阪市立北中道小)

5. ACT-kansai 定例会議開催。

6. USD-O 11月10日(木)理事会出席(清家支部長)、その他(社)日本ジュウリーデザイナー協会懇親会出席(小宮副理事長・清家支部長)

7. 今後の予定

11月28日(月)総務部会開催予定、次期役員委員会総会開催予定。

12月中旬、組織部会「第6回企業における新商品、重点商品説明会」事前説明会開催予定。

12月13日(火)研究発表部会、小学校におけるインテリア実験実習(堺市立錦西小)予定。

12月15日～20日、研究発表部会「日本の空間デザイン2005年」展参加、学生賞実施。

12月21日(水)第5回支部運営部会開催予定。

◆九州事業支部

1. 9月27日(火)「第20回全国高等学校インテリアデザイン展」大川インテリア産業振興センター主催(審査委員長、飯田一博)

2. 10月6日(火)「華一の夢博」インテリアの街大川の伝統と未来展審査、大川インテリア産業振興センター主催(審査委員長、山永耕平、審査委員、飯田一博)

3. 10月18日(火)「ホームコンラクトコンペ」大川家具工業主催(審査委員長、山永耕平、審査委員、飯田一博)

4. 10月22日(土)役員会開催、「九州インテリアデザイン

展2006」について

第54回九州家具展(平成18年1月11日～12日)にACT九州を含む学生作品を出品予定。JID九州より優秀賞、奨励賞等をつくり表彰。

九州事業支部役員選挙実施予定、11月25日投票締切、12月中旬開票予定。

12月例会開催予定。その他大テーブル展資料提出に協力。及びHPの会員紹介ページ充実。

5. 今後の予定

「九州インテリアデザイン展2006」、第54回九州家具展等に協力。

◆本部総務委員会

1. 委員会開催(9月20日、10月20日、11月2日、11月8日) Jプロジェクト(仮称)について

9月の委員会より、平成18年1月スタートを目標に、委員会内3セクションで具体化に着手。

Jプロジェクトの基本理念と綱領策定。賛助会員リストのチェックと整理。その他実行委員会開催の準備等を行った。

Jプロジェクト第1回実行委員会について

11月8日、OZONEセミナールームにおいて18社23名と関東事業支部酒井副支部長が参加。本部よりアジェンダに基づき趣旨説明18社から貴重な意見をいただき、概ね賛助会員より賛同を得、具体的課題が出され1月実施に大きな一歩となった。

今後12月6日にグループワーク形式で第2回実行委員会を開催予定。

その他、ニューイヤーズパーティ準備及びIDカードの更新準備に着手。

◆本部交流委員会

1. 9月14日「北欧デザインツアー」事前説明確認会開催。

9月20日～29日まで参加者13名でフィンランド、スウェーデン、デンマークを周り全員無事帰国。

9月25日、IFI本会議に先立ち25日～28日に開催されたEra05会議に本部交流委員長小野由記子、同委員酒井正人が出席。

9月29日～30日、デンマーク・コペンハーゲンで開催されたIFI国際会議に小野と酒井の2名がJID代表として派遣され出席。

2. 10月20日、本部交流委員会開催、IFI国際会議報告と会員への報告会企画準備。

3. 11月15日「IFI2005コペンハーゲン国際会議報告会及び意見交換会」「メゾン・エ・オブジェ報告会」をフジエキスタイルショールームにて開催。IFI会議・Era05会議を小野委員長、酒井委員が報告。アジアデザイナーズインターチェンジ展を川上理事長が報

告。北欧デザインツアーについて萩原多恵子、岡部史子両会員が報告。

◆情報委員会 インターネット

今回委員会報告はないが、本部事務局にかねてから情報委員会と事務局で検討中のインターネット光回線が開通、送受信の効率化がなされた。

◆情報委員会 JID News

10月9日JID ニュース 229 号を会員に配布。230 号については11月15日入稿確認、22日原稿依頼、12月6日原稿締切で12月末配布を予定。

会員ワーク集については11月初旬作品応募案内配布、11月30日申込み締切で年度末発行を予定。

◆選考委員会

11月1日、JID 賞最終審査を特別審査員、朝日新聞大西若人氏、OZONEリビングデザイン誌 浅倉与志雄氏、建築家 隈研吾氏、川上理事長と選考委員で行い、大賞1点、インテリアスペース賞3点、インテリアプロダクト賞3点、インテリアプロダクト部門佳作1点、インテリア研究・著作・業績賞1点の計9点を選定した。今後12月1日に選考委員会を開催、リーフレット、JID 賞展、賞楯、贈賞式等決定予定。

◆事業推進担当(小宮)

- 1.「平成17年度事業一覧」JID ニュース 229 号掲載分をJID-Webに掲載を情報委員会に依頼、掲載完了。
2. JID 賞全国巡回パッケージ(案)」を立案。検討の結果、正副理事長会議で費用に関し、展示用パネル送料は選考委員会負担とし、現地展示費用は事業支部負担とすることに決定。
3. 50周年記念事業に関しては前回理事会で決定の「50周年記念事業準備委員会」メンバーを確認。メンバーは川上理事長、小宮副理事長、阪井副理事長、安藤理事、丸谷理事、秋山理事の6名とすることに決定。12月10日に準備委員会を開催し、実施計画案等を実行委員会に移す予定。
4. その他事業推進担当会議を1月に開催予定。

[2] 平成18～19年度役員・選考委員開票報告 (会員に告知済み)

上記について事務局長より報告役員・選考委員の開票状況及び役員・選考委員の受諾決定を報告。

[3] 平成17年度収支状況報告(10月末)

上記に付き事務局長より報告。

[4] その他

1. 財務運営資金繰り

上記に付き事務局長より報告。

2. 予算編成スケジュール及び総会までのスケジュールについて

上記に付き事務局長より説明。

3. 会員異動状況

上記に付き事務局長より報告。

議長は報告事項について了承を求め、正副理事長会議はこれを了承した。

Ⅱ 検討事項

[1] 新役員予定者会議の開催について検討、平成17年12月10日(土)に決定。

Ⅲ 議題

◆第1号議案

後援・協賛名義承認の件(5件)

事務局長が下記5件について説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認した。

- 第61回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2006

平成17年9月1日(木)～10月9日(日)

主催：財団法人大川総合インテリア産業振興センター

協同組合大川家具工業会

協賛・継続

- インテリアプランニング賞 2006

2005年12月～2006年9月下旬

主催：財団法人建築技術教育普及センター

協賛・継続

- あかりメッセージ 2005

2005年12月18日(日)～25日(日)

主催：社団法人日本インダストリアルデザイナー協会

東日本ブロック・ライティングデザイン研究会

後援・継続

- 夜話「デザイン考は講に通じる」セミナー

平成17年12月2日(金)

主催：夜話「デザイン考」実行委員会 後援・継続

- 「建築工事標準仕様書・同解説 JASS26 内装工事」

改定講習会

東京 2006年2月3日(金) 大阪 2006年2月9日(木)

主催：社団法人日本建築学会

後援・新規

◆第2号議案

会員入退会承認の件(2件)

事務局長が下記2件について説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

- 賛助会員 入会(1件)

カリモク家具販売株式会社ドマーニ日本橋

紹介者：安竹麻智

- 正会員 退会(1件) 石沢洋生(関東)

- 報告事項(計報)

大竹正道(関西名誉会員)

平成 17 年 1 月 27 日逝去 享年 84 歳
下島資子(関東正会員)
平成 17 年 10 月 24 日逝去 享年 60 歳
廣田長治郎(関東名誉会員)
平成 17 年 11 月 8 日逝去 享年 88 歳
藤川宏允(関西名誉会員)
平成 17 年 11 月 23 日逝去 享年 75 歳

その他

1. 公益法人改革の動き(経済産業省)、公益法人の実態等に関するアンケート(内閣官房行政改革推進事務局)について事務局長より報告、了承された。
2. 「新日本様式」協議会への参加依頼があり、これについて協議したが次回理事会にて検討することとした。
3. D-8 デザインミュージアムに関する委員を、D-8 各団体より夫々 2 名選出依頼が D-8 事務局よりあり、JID 担当者として吉良ヒロノブ(正)、阪井良種(副)を選出。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成 17 年度第 2 回正副理事長会議(理事会代行)に関し、定款第 26 条に基づき、議事経過及び議決事項を記すため、正副理事長が署名捺印する。

議長 川上玲子

副理事長 小宮容一、阪井良種

本部からのお知らせ

50 周年記念事業特別委員会について

副理事長 小宮 容一

12 月 10 日「50 周年記念事業準備委員会」(メンバー：正副理事長、事業推進担当理事、総務担当理事)を開催した。2008・2009 年度の記念事業について、テーマや組織、推進方法、予算、スケジュール、本部事業、支部事業、ACT 事業等について討議した。結論として、平成 18 年度の初頭には「50 周年記念事業特別委員会」を立ち上げ、この委員会において、委員長、委員を組織し、そこで事業内容他詳細を決定していく方法が良いとした。

つづく、「平成 18・19 年度役員予定者会議」において、運営組織及び担当役員人事が案として採択された(最終は総会議決)。50 周年記念事業担当理事には、山本棟子氏が予定され、氏を含め、上記準備委員会で委員会組織他を討議し推進していくこととなった。

委員会 報告

交流委員会

担当理事：坂本和正
委員長：小野由記子

IFI 総会報告

小野 由記子

本部交流委員会の小野と酒井は、今年は 5 月に台北で開催された APSDA の総会につづき、IIFI の総会にも派遣され出席いたしました。その 2 つの会議に出席して見えてきた事があります。例えば、

●IFI と APSDA の関係。APSDA は既成事実として IFI の下部組織という認識がされている。

●アジア諸国では政府も関与してデザインビジネスへの展開がすでに活発に始まっており当然、IFI への関与にも大変積極的。その目立った動きとしては、

・IFI の理事長は、今回会議まで韓国の Young Beak Min 氏。2005 ～ 2007 年の理事長はオーストラリアの Madeline Leaster 女史が務める。

・2007 ～ 2009 年の IFI 理事長には、インドの Shrikant Nivasarkar 氏が立候補し選任された。

・2007 年 IFI 会議開催国 韓国が予告のデモンストレーションを華々しく行った。会場は釜山。

・2009 年 IFI 会議開催地候補のプレゼンテーションをシンガポールと中国(北京)がそれぞれ行い一票差でシンガポールに決定。

・IFI の事務機能はこの度シンガポールへ移り、現地企業の経済援助によりミカビル内に事務局を開設。etc

●日本は経済的にもデザイン先進国という理由でも、(特にデザイン界を魅了した ZEN Style の波及で、日本デザインへの関心が高い)あるポジションを保っている。しかし日本、JID の国際活動への非積極さはアジアのなかではむしろ特出している。

●ヨーロッパの 17 カ国は ECIA として組織され、その内容運営などはかなり整備され充実している。

●IFI や APSDA 会議への代表派遣者は、各国長年同じ方が勤めているケースが多い。そのため非常に親密度は高いが初参加者にはその慣例ともいえるべきものが解りにくい。

●正式な Delegate 代表派遣者以外に オブザーバーとして会議に列席する方法がある。その場合、会場後方に席が用意され、ランチやティータイムでの歓談やレセプションにも参加ができる。今回も各国から相当人数がオブザーバーとして会議に参加していた。このような会議参加方法は、今後の参考になる。

●IFI には、正会員以外に準会員、(賛助会員)の枠がある。教育機関も現在約 20 校が IFI の準会員に登録

しており、活発なアピールや交流が行われている。それは日本の大学やデザインスクールにとっても有益と思われる。他の準会員の登録資格なども明確にし、今後JIDからの紹介も考えられる。

他の準会員としては、デザイン団体・教育団体・公共団体の枠がある。日本ではJDF (Japan Design Foundation) とIDCN (International Design Center Nagoya Inc) が加盟している。



(左端) 韓国理事長、(左から3人目) ミニIFI会長、(右端) 韓国副理事長



コペンハーゲン市庁舎でのウェルカムパーティー

ERA05 報告

IFI 総会に先立ち、Era05 の一連のプログラムが9月22日から28日にかけて オスロー、イエテボリ、ヘルシンキ、コペンハーゲンで催されました。

小野と酒井は、IFI 総会とは別に、自由意志参加の形でEra05の会議にも出席しました。オープニングセレモニーから始まり、様々なセッションやレセプションが密度高く構成されており、その中から選択して参加する形です。各国からのプレゼンターのレクチャーも豊富で、フィットするプログラムに参加できれば実り多いのですが、事前にプログラムが把握しにくい事が、ネックです。また参加費として一人約¥100,000 掛かるというのもアンリズナブルです。しかし、今回Era05のデザインテーマ「変化の時代の今、デザインの役割や挑戦とは!」は、IFI 総会の主旨に重なるもので、全体の流れを読むうえでは参加意義がありました。

《北欧デザインツアー報告》

このEra05に合わせて本部交流委員会が企画し、日米観光が実施をになう『北欧デザインフェスティバルツアー』は、応募者数が13名と、ツアー催行の15名を満

たす事ができず、残念ながらツアーとしては成立しませんでした。しかし13名の希望者が全員の才気と行動力を合わせ 企画内容同等以上のグループツアーを組み フィンランド、スウェーデン、コペンハーゲンの、建築、インテリア、アートを巡る充実の旅行をし、全員無事に戻られたことを報告します。コペンハーゲンでは、Accompanying Person の登録で、Era05の雰囲気も体験されました。

報告会開催

11月15日フジエテキスタイルショールームにて、「IFI 2005 コペンハーゲン国際会議報告及び意見交換会」及び「メゾン・エ・オブジェ報告会」を同時開催しました。IFI一連の報告の後、北欧を廻られた萩原多恵子、岡部史子両氏より旅行のご紹介、Asia Designer's Interchange 展の審査員としてソウルに行かれた川上理事長よりそのご報告、フジエテキスタイル山本氏からメゾン・エ・オブジェ展のスライドショー、と続く盛りだくさんのプログラムで、多くの会員の方が出席されました。感謝。

委員会 報告

情報委員会

担当理事：清家淳一

委員長：八十常充

『JID会員ワーク集2006』 掲載作品・第2次募集のお知らせ

編集委員長 山崎 晶

『JID 会員ワーク集 2006』掲載作品募集は11月末をもって締め切りましたが、応募総数は予定数の25%、広告掲載の応募も極少という結果でした。

このままでは出版が危ぶまれますので、前回(11月末締め切り)を第1次募集として、今回、第2次募集を行ないます。

お正月を挟みますので何かとお忙しいことと存じますが再度応募のご検討をお願いいたします。

『JID 会員ワーク集 2006』掲載作品第2次募集

◆申込締め切り：2006年1月25日(水)

※申込まれた方には個別に「掲載写真・文字原稿送付についてのご案内」をお送りします。

◆作品掲載料振込み締め切り：2006年2月1日(水)

◆写真・原稿締め切り：2006年2月15日(水)

◆右ページのお知らせをご覧ください。

JID会員ワーク集2006

掲載会員作品と協賛広告

第2次募集のお願い

the Works
of JID members
2006

06年5月発刊予定

RUSH!

**JIDの歴史を彩る
あなたの作品をお待ちしています**
第2次募集・締切り:06年1月25日(水)

出版企画のあらまし

- ◆書名: 社団法人日本インテリアデザイナー協会・会員ワーク集2006
 - ◆体裁: A4縦型・フルカラー ◆発行: 社団法人日本インテリアデザイナー協会
 - ◆企画・編集: JID関西事業支部「JID会員ワーク集2006」編集委員会
 - ◆構成: 1) 会員紹介 2) 特集企画 3) JID活動紹介 (04・05年度) 4) 協賛広告
- ※なお個人情報保護のため、今回より会員名簿は削除します。

会員(作品)紹介および協賛広告スペースについて

- ◆会員紹介ページ: 正会員1名賛助会員1社共に、1/2ページから4ページまで
作品写真1/2ページ2点、1ページ4点以内および作品説明・自己紹介
- ◆広告スペース: 1/3ページ、1/2ページ、1ページ、2ページ

◆申込締切り:2006年1月25日(水)

前回配布申込用紙にて本部事務局へFAXでお申込ください。
(申込用紙が必要な方は本部事務局にお申し出ください。)

◆写真・原稿締切り:2006年2月15日(水)

申し込んだ方には個別に「掲載写真・文字原稿送付について
のご案内」をお送りします。

◆作品掲載料振込み締切り:2006年2月1日(水)

掲載料振込により正式ノミネートとします。

※その他、詳細は第1次募集のご案内を参照してください。

本部情報委員会担当理事 清家 淳一・「JID会員ワーク集2006」編集委員会 委員長 山崎 晶

委員会 報告

選考委員会

担当理事：岩倉榮利
委員長：木村戦太郎

2006年JID賞ビエンナーレ 入賞作品決定

選考委員会 委員長 木村 戦太郎



大賞受賞作品：canvas（撮影／佐藤かな子）

2006年JID賞ビエンナーレの応募総数は過去最高の236点に達し、部門別ではスペース系がプロダクト系の3倍を超えました。選考委員会は慎重審議を期して7月から10月にかけて5回の予備審査を行い、スペース系応募作品については複数の委員による現地視察を行って報告書を作成。11月1日の最終審査には4名の特別審査員を迎え、応募書類に加えてスペース系視察報告書およびプロダクト系作品の現品を提示し、インテリア研究・著作・業績部門では選考委員による説明の後に投票、これを踏まえた審議により各賞が右記の通り決定しました。

JID賞リーフレットには、特別審査員4氏の総評と選考委員による審査講評を受賞作品写真に添えて掲載します。尚JID賞展は2006年1月19～24日OZONE 6Fロードサイドスクエアで開催され、1月20日の新年会前の贈賞式では、特注の亚克力賞楯を受賞者に贈呈します。

受賞者

大賞

・canvas nendo／佐藤オオキ、石川崇之
インテリアスペース賞

・中国木材株式会社 名古屋事業所

福島加津也、富永祥子、中原英隆

・成城あんや TONERIKO／君塚賢

・王子木材工業本社ビルー木のサンプル帳

MDS 一級建築士事務所／川村奈津子、森清敏

インテリアプロダクト賞

・obi 日原佐知夫

・snow nendo／佐藤オオキ

・wind nendo／佐藤オオキ

インテリア研究・著作・業績賞

・井上昇の椅子塾 井上昇

インテリアプロダクト部門 佳作

・POKO A POKO

札幌スタイル・デザイン開発プロジェクト

委員会 報告

総務委員会

担当理事：秋山修治
委員長：伊藤公一

第1回Jプロジェクト実行委員会(仮称)報告

日時：2005年11月8(火) 16:00～18:00

場所：OZONE セミナールーム B

出席：32名

賛助会員／18社(23名)

(株)アダル、(有)エーディコア・ディバイス

柏木工(株)、(株)川島織物インテリア

(株)カンディハウス、(株)コスガ

サイレントグリス(株)、(株)サンゲツ

セラトレーディング(株)、(株)セルコン

トソー(株)、(株)トミタ

ナショナル物産(株)、日本フィスバ(株)

(株)フジエテキスタイル、(株)リッツウェル

(株)ワークプレイスソリューションズ

関東事業支部副部長／酒井

総務委員／秋山、伊藤、安竹、福田、長堀、
萩原、富田、井出

◆ 議題

- ・ Jプロジェクトの概要説明
- ・ 現在の検討課題説明
- ・ 参加賛助会員からのご意見



かねてから推進しておりました賛助会員との共同プロジェクトについて事業目的と経緯を賛助会員にお知らせし、第1回Jプロジェクト実行委員会(仮称)を開催いたしました。予想を大きく上回る18社にご参加頂き、参加賛助会員からは概ねご賛同頂いた結果となりました。同時にかなり具体的検討課題等、多くの貴重なご意見を頂きました。また第2部懇親会では、峰尾事務局長にもご出席頂きJID会員同士として和やかな雰囲気、親交を深める場を持つ事が出来ました。来年1月スタート目標に向けて大きな前進であり、大変有意義な内容の第1回実行委員会でした。ご協力頂きました賛助会員の皆様にお礼申し上げます。

第2回実行委員会は、12月6日(火)オゾン8階セミナールームB・17:00～19:00にて第1回にご指摘頂いた検討課題などを3テーブルに分け議事進行予定です。また正会員、賛助会員の皆様には同プロジェクトへ積極的な御意見等をお待ちしています。ご協力宜しくお願い申し上げます。
(総務委員：井出 昭子)

トピックス

インテリア・フェスティバル2005

山本 棟子

11/22～25、東京ビッグサイトで2005東京国際家具見本市IFFTとインテリアトレンドショウ(=JAPANTECH)、11/22～24パシフィコ横浜では、にっぽんらいふ展：全国木の家具・生活具大博覧会が開催され、インテリアに関する大きな展示会が目白押しであった。

インテリアトレンドショウの中、(社)インテリア産業協会部分の“インテリア・フェスティバル2005”では、第3回インテリアコーディネーター団体提案コンテストが行われた。このコンテストはICのPR・産業界・一般生活者に広めるのが目的で、今回は全国IC団体39の内、13団体

が参加した。テーマは「ある物語のインテリア」で約2.5m×2.0m×2.6mの空間に自由に提案展示競うもので、地域の文化や物産を生かすことも奨励されている。入場者の投票と今年から専門家4人が加わって審査されたが、私は岩倉榮利氏他と共に専門審査員を務めた。それぞれに優劣つけがたいものが多かったが、結果としてコンセプトが明快で、感性の優れた表現、地域の物産を生かした展示等が受賞したように思う。ちなみに最優秀賞：山口IC、アイデア賞：山形IC、クローズアップ賞：千葉IC、努力賞：山陰IC、栃木+茨城IC、神奈川IC、IC東京、あおもりIC、地場産業賞：鹿児島ICが受賞、24日の「交流の集い」パーティーで発表・表彰された。

(IC＝インテリアコーディネーターまたはインテリアコーディネーター協会の略)

韓国インテリアデザイナー協会 (KOSID) に招かれて

理事長 川上 玲子

10月後半に行われた KOSID 主催デザインイベントのひとつ、学生インテリアデザイン賞の審査員として急な要請を受けて参加して来ました。

2007年に釜山で IFI 世界インテリアデザイン会議が行われることもあり、国際活動に熱のこもった韓国の要請を受けたのは中国、台湾、日本。アジアの4ヶ国が一同に会し生活の向上を目指すデザインという共通の認識のもと、微妙な政治のこだわりを越えてお互いに友好関係が築けたと思いました。朝食ミーティングから始まり、夕方迄200点を越える作品と一緒に審査し、夕食を共にすることで今後はアジア発信のデザイン、ライフスタイルのあり方など協力して世界にアピールしていこうと盛り上がりました。

晴天の青空のもと太鼓の華やかな響きと元映画俳優だったという地元の市長の和やかなスピーチで開会式と表彰式が行われ形式に捕われない明るさが印象的で2007年の釜山が楽しみになりました。イベント会場には国際交流デザインとして JID 会員の作品パネルもワーク集から選んで出展協力しましたので多くの人の注目を



向かって左から台湾副理事長、台湾理事長、KOSID 理事長、JID 川上

引いていました。スケジュールびっしりの2日間でしたが偶然、25年前に武蔵野美大で教えた留学生が大学教授として活躍していたお陰で、KOSID がフリータイムを作ってくれたため、彼女の案内で私の知らないソウルの素晴らしいデザイン環境を知る事ができました。韓国はアートに関する意識が高く、古い建物や通りを保ちながらそこに混在する新しい建築のアートギャラリー、その界限は非常に魅力的な趣とアート自体も人を引き付ける魔力さえ感じてしまいました。マリオ ボッタ、ジャンヌーベル、レム コールハースといった建築界の巨匠三人が競作したサムソン財団の美術館は最近、最も感激した建物でした。2007年、釜山からも JID 会員の多くの参加を期待するインフォメーションが届いていますので近い国として協力をしていきましょう。

トピックス

コンテンポラリー・インテリアデザインの国際見本市

『100% DESIGN TOKYO 2005』レポート

関西事業支部 副支部長 安藤 真吾



現在イギリスで最も有名なデザインビジネスショーだといわれる「100% DESIGN」は、1995年にキングス・ロード沿いに設営された小さなテントでスタートして以来、年々規模が拡大しているインテリアデザインの見本市です。この見本市の日本版が、2005年11月2日(水)～11月6日(日)の期間、神宮外苑絵画館前広場にて、折しも20周年を迎えた「東京デザイナーズウィーク」の目玉イベントとして今回初めて開催されました。この「100% DESIGN TOKYO」の特徴は、国際的な審査によって選出された国内外128のデザイナーとメーカーが参加したということです。私の事務所も会場の片隅に出展しましたが、巨大なテントの会場は連日大賑わいとなり、1週間で7万人動員という盛況なイベントとなりました。当初の目標は、東京・青山エリアという絶好のロケーションにデザインプロモーションの場をかまえ、国内外に発信してビジネスにつなげていくというものでした。このイベントが終わってみて、各方面の反響からほぼそれが達成したことが実感されます。向こう5年間、外苑での開催が決定されましたので来年の開催も盛り上がりを期待したいと思います。

Meet The World 「スイスのインテリアデザイン」

総務組織委員会 大野 美代子



スイスのインテリアデザイナー協会 (VSI) のメンバー来日を機に、国際交流イベント Meet The World の「スイスのインテリアデザイン」が 11 月 7 日、(株)アイデックのショールームで開催された。川上理事長をはじめ、総勢 62 名の出席者が集まり、なかなかの盛会、後援のスイス大使館の方々も出席して下さり、中でも Nerson 氏の流暢な日本語の挨拶には驚かされた。日本の IFI 加入時に理事長であった Huber 女史の連絡を受けて、酒井、藤村の両氏と企画をスタートしたが、JID として初めてのスイスとの交流イベントである。

前半は Huber 女史の講演で、スイスのインテリアデザインが 10 のカテゴリーに分類されて紹介された。公立学校、高齢者用の建物、観光施設、トイレ等公共のスペース、家具等。最後に学生の卒業制作も加えられたが、映像も美しく、デザインのレベルも高い。通訳は在スイス 6 年のキャリアを持つ藤村氏である。後半の交流会には他の 7 人のスイスのデザイナー達も加わり、まずは大使館寄贈のスイスワインで乾杯。ワインを片手に会員、賛助会員、協賛会社の方々との話しもはずみ、なごやかで楽しいひとときを過ごすことができた。

なお、VSI からは JID に「スイスのインテリアデザイン」という本が寄贈された。帰国後、Huber 女史から次のメッセージが届いている。

「あの会は素晴しかった。スイスに来ることがあったら是非、VSI にコンタクトを取って欲しい」

後援のスイス大使館、協賛の(株)アイデック、Gioflex (東洋スチール(株))、Creation Baumann (クリエーションバウマンジャパン(株))、SWISSLEHM ((株)イケダコーポレーション) 及び、当日様々なヘルプをして下さった会員の皆様方に謝意を表したい。

『JID-ACT 展』in IFFT 2005

総務組織委員会 JID-ACT 担当 池田 和修



JID 関東ユースは JID-ACT 関東と名称を変え、今年も 11 月 22 日から 11 月 25 日に東京ビッグサイトで開催された IFFT2005 東京国際家具見本市に出展しました。ユース展から数えて 4 回目となる出展ですが今回から『JID-ACT 展』とし、全国各支部の ACT メンバーにも参加をよびかけました。

テーマは <JUNGLE> メンバーの多種多様なデザインの集合体を表しています。チェアー、チェスト、照明、タペストリー等、すばらしい力作が並び、様々な方々から好評を得ることができました。世界に発信する IFFT であるように、JID-ACT 展が若いデザイナーの感性を日本から世界に発信する場となるよう期待しています。

今回は関東から 7 名 9 点の出品となりましたが、今後は各支部 ACT メンバーが、より密に連絡をとりあい、より早い時期に準備を進め、次回 ACT 展がさらにすばらしいものとなるように、私達も協力したいと思います。

最後に出展にご協力いただいた協力企業の皆様へ、この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。

社団法人国際家具産業振興会 様
立川ブラインド工業株式会社 様
株式会社フジヤ 様

JID中部事業支部 活動報告

文責：熊谷正信

中部事業支部では中部インテリアプランナー協会、インテリア産業協会、日本インテリア学会、AIAの5団体とともにUDMプロジェクト実行委員会主催によるセミナー「生活者視点で考えるこれからのマンションのあり方」を後援しました。

セミナー開催日時は2005年10月28日(金)15時より17時迄、会場はナショナルリビングショールーム(名古屋)会議室にて定員50名に対し60名が参加者し、下記の内容で盛況の内開催されました。



〈セミナー内容〉はUDM (United Design of Materials Projects の略) の3年間の活動紹介とともに近年、生活者のライフスタイルが多様化し、マンション供給者側の提案力が問われており、本セミナーでは、生活者視点から考える、魅力的なマンションを企画・設計するための手法を、二つの角度からレクチャー。

[第1部]「コンパクトマンション購入者のライフスタイル」
講師：茂木弥生子 (リビングデザインセンター OZNE)

[第2部]「内装部材の色・形の調和への試み」
講師：UDMプロジェクト実行委員会メンバー
三沢亮一(アーキテクト)、大橋章之(アーキテクト)、熊谷正信(JID 中部)、森美香子(JID 関東)、小倉ひろみ(カラープランナー)、橘田洋子(クリエイティブディレクター)

「United Design of Materials Projects」とは、集合住宅における様々なインテリアパーツの色・形を中心とした仕様を、コーディネーションしやすい新しい仕様へと開発検討していくためのプロジェクトです。

このプロジェクトは、リビングセンター OZONE が運営する、住まいをもっと快適に自分らしくサポートするプロのメンバーシップ、リビングデザインクラブ〈プロフェッショナル〉のメンバーによって2003年にスタートしました。

デザインがこの国を変えていく

JID-ACT 中部担当 杉崎 晃久

デザイナーズウィークイン名古屋が10月20日～23日名古屋で初開催され、色々なイベントが各所で開かれました。

会期中JID関東事業支部岩倉榮利さんの「家具の力」展がMDファニチャーにて開かれ、20日にオープニングパーティーが行われました。JID中部、JID ACTのメンバーも参加し、特に学生の参加が多数あり、岩倉さんからの家具のお話を真剣な目で聞いていました。すばらしいオープニングパーティーとなりました。



岩倉さんと学生

中部インテリアデザイン連絡会

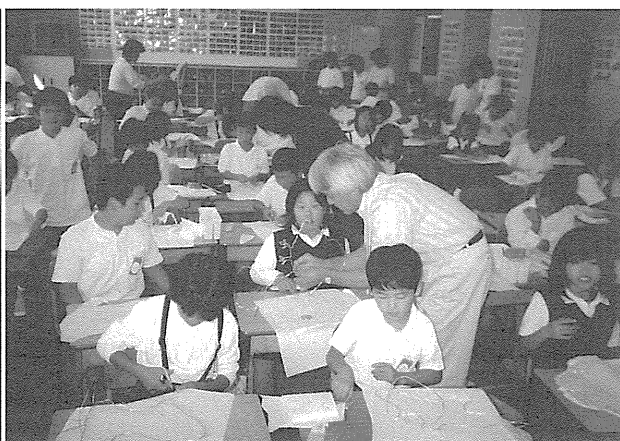
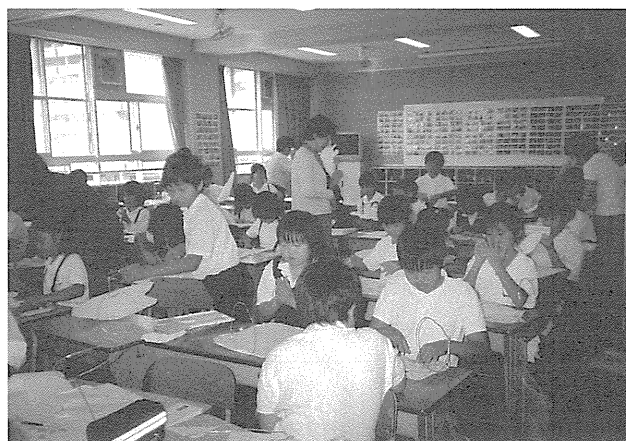
中部事業支部 支部長 小宮 三辰

前回のJIDニュースで中部インテリアデザイン連絡会の発足のレポートをしましたでしたが、その後順調に連絡会の会合が続いています。

5団体のそれぞれの活動を紹介し合ったり、活動への参加を促したりと各団体の総合理解と協調精神の増幅に力を注ぎ良い関係が生れつつあります。

新しい年を迎え中部インテリアデザイン連絡会でまとめた事業を創造しようとしています。具体的な事業内容は煮詰まってはいませんが、何か共同行事とのムードが高まっています。是非成功させたと努力しています。

中部のインテリア全体がまとまりのある活動をする事で業界、学会、デザイン界が常に連携が取れる場に育てば幸いであると思っています。



「総合的な学習の時間」における インテリア教育実験実習

関西事業支部 研究・発表部会 鈴木 儀雄

2005年10月14日(金)9:40~12:25の2時間45分間、堺市立錦西(きんさい)小学校4年生70名を対象として「あかりを楽しむ～動植物編～」をテーマに実験実習を行った。

参加者は私と小宮会員、佐々木会員、高瀬会員と会員外から1名の計5名。

児童たちには事前に400mm×400mm程度の画用紙に下絵を描いてもらい、実習に入った。

下絵に沿ってアルミ線で輪郭をとり、和紙を貼り付け水彩絵の具で着色させた。

始めはあまり進まなかったが、数人の児童が進みだすと釣られて他の児童も進みだし、実習時間の間休むことなく楽しそうに作業を進め、最後に部屋を暗くして作品を順番に点灯させていくと、拍手と歓声が上がった。

動物、果物、花など多種のものがあつ、中でも動物が特に多く見受けられたが、全員が本当に個性的な作品を完成させ、「僕の部屋に置くねん」「お母さんに見せるねん」などと大満足な表情を浮かべ実習を終えた。

今回の作品の中には、小さいものや細長いものなどがあり、光源とのバランスに問題のある作品も少なからず見受けられたので、自宅に持ち帰ってからアレンジを加えるような指導をすることによって、より個性的な作品になり考える力も身に付けられるようになるのではないかと考えます。

平成18・19年度支部役員選挙報告

関西事業支部 総務部会長・選挙管理委員 山本 紗代子

支部運営委員会で決議された支部役員選挙の「本部署理事選挙同時実施」も今回で2回目となり、平成17年8月30日に選挙管理委員会が発足しました。選挙管理委員長に夏原晃子会員、委員に鬼田勲会員、高瀬守博会員、事務局高尾氏、山本の5名とオブザーバーとして清家支部長にご参加頂きスケジュールなど決定確認しスタートしました。理事選挙同時実施の結果、選挙管理委員会の最課題である投票率も64%と前回同様の高投票率を確保でき、必要書類等の同封による経費の節減だけではなく良い成果を上げた実感しています。開票日の11月4日には事務局に選挙監理委員長および委員が集合、内規に基づく支部役員30名が選出されました。開票作業を終えると選挙管理委員会は結果報告を残すのみですが、11月14日付けの「選挙結果のお知らせ」をもって無事解散致しました。11月28日には平成18・19年度支部役員総会も開催され、次期支部長に現理事兼支部長の清家氏が選出されました。迎える1月初旬には次期事業および予算計画の本部提出がある予定ですが、この事においても理事選挙と同時期での支部選挙実施で、この時期に來期の支部組織が予定できる事にも大きな意味があると考えます。最後に先回と同様、選挙広報や投票用紙等の同封作業など本部事務局に大変お世話になりました。誌面をお借りしお礼申し上げます。又、今回は事務局の高尾さんには初めてのことでしたがよくご理解頂き、スムーズに進行しました。有難うございました。

事務局からの
お知らせ

会員異動のお知らせ

※「会員名簿」該当ページをご訂正ください

◆正会員

会員番号0979 竹岡 美智子 会員名簿・関東p.9
・自宅住所変更 〒156-0042
東京都世田谷区羽根木2-37-16

会員番号0404 前原 誠 会員名簿・関東p.13
・Eメール変更 ma-emak@fd.catv.ne.jp

会員番号1227 松浦 千代美 会員名簿・関東p.13
・事務所移転 〒106-0032 東京都港区六本木5-13-19
ライオンズマンション101
Tel:03-3568-1157 / Fax:03-3568-8158

会員番号0643 李 泰久 会員名簿・関東p.15
・事務所移転 〒106-0046 東京都港区元麻布2-3-18
麻布ハウス3F
Tel:03-5419-2090 / Fax:03-5419-2091

会員番号1042 安藤 眞吾 会員名簿・関西p.18
・事務所移転 〒534-1112 大阪府大阪市都島区
中野町3-4-7 Reco project 1F
Tel / Fax:06-6358-1099

◆賛助会員

会員番号3172 凸版印刷株式会社 会員名簿・賛助p.28
・社名変更 株式会社トッパンコスモ

会員番号3088 会員名簿・賛助p.28
株式会社日建スペースデザイン
・住所変更 〒101-0061
東京都千代田区三崎町3-3-10

会員番号3111 会員名簿・賛助p.29
株式会社フランスベッド
商品企画部デザイン課
・住所変更 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-25-1
フランスベッドビル3
Tel:03-5338-0078 / Fax:03-3363-8376
担当者 課長 永井 英之

225号の変更

会員番号1252 高橋 紘生 新会員紹介p.15
・Eメール変更 shin8@w3.dion.ne.jp

224号の変更

会員番号3180 日本フィスバ株式会社 賛助会員紹介
・担当者変更 第2事業本部コントラクト営業部主任
渡辺 敏一

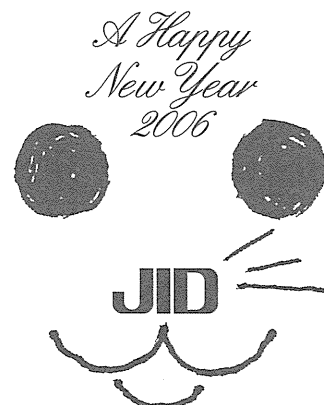
新会員 紹介 賛助会員

※賛助会員数58社(平成17年12月現在)

カリモク家具販売株式会社 ドマーニ日本橋

会員番号3185
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-2-9三晶ビル1・2階
Tel:03-3516-8200 / Fax:03-3516-8202
担当者:館長 鳥飼誠也
推薦者:安竹麻智

今後のご発展とJID活動でのご活躍を期待しています。



本部情報委員会/事務局一同

訃報

大竹 正道 氏

(関西事業支部 名誉会員)

平成17年 1月27日逝去 享年84歳

下島 資子 氏

(関東事業支部 正会員)

平成17年10月24日逝去 享年60歳

廣田 長治郎 氏

(関東事業支部 名誉会員)

平成17年11月8日逝去 享年88歳

藤川 宏允 氏

(関西事業支部 名誉会員)

平成17年11月23日逝去 享年75歳

謹んでご冥福をお祈りいたします。

追悼 藤川宏允さん

— 2005年 11月 23日逝去 —

関西事業支部 山崎 晶

正に“怪物逝く…”といった感慨である。なかなか信じられない。

反面教師として多くの人材を育てた。特に酒の飲み方は独特のテクニックがあった。私も株式会社大丸装工事事業部(現・株式会社大丸装工)というところにおいて怪物のご指導をもちに受けた一人であるが、終始逃げ回っていた記憶がある。同席の相手に対して酒の勧め方が凄まじい。当時その会社には「二日酔いで休んではいけない」という社則以上のきつい掟があった。飲酒運転は飲ませたほうも悪い…という時代ではなかった。あったとしてもこの怪物は平気で相手を飲みつぶすのである。翌日怪物は平然と出勤している。相手は出てこない。「あいつは死んだ」「あいつを殺した」が口癖のように怪物の口から毎朝聞かされるようになった。やがて「〇〇部長はどうした…?」「お亡くなりになりました」「又かい…」などという会話が社内を飛び交うようになる。事情を知らない下請けの番頭さんなんかはそれを耳にして会社に報告すると、その会社の社長さんが香典を持ってお悔やみに来る…なんてことも決して作り話ではない。藤川さん、冗談がきつかったよ。

飲めば隣にいる人をだれかれなしに批判し罵倒するのである。怪物にお供をして岐阜あたりへ出張したことがあった。仕事はそこそこに怪物の旧友宅に上がりこみ酒宴となり、その地で設計事務所を成功させたその旧友を罵り始める。温厚なお友達はただニコニコと笑って

いるだけ。やがて新幹線の最終時間も過ぎ当然の如くそこでお泊り。怪物と枕を並べるようになった。ようやく寝付いたかと思いきや今度は寝言で先ほどの罵りの続きが始まるのである。私はすっかり睡眠不足の翌日を迎えることになったのだが、帰り道この怪物・藤川さんの悲しさを見たような気がしたのである。本当は不器用な寂しがりやだったのではなかったか。

藤川さん、もういいからあの世では心穏やかに過ごしてください。私たちは決して貴方を忘れることはないでしょう。時々懐かしく想い出します。それにしても抜群に頭のいい、文章力のある方でした。 合掌

下島資子さんの死を悼む

— 2005年 10月 24日逝去 —

萩原 多恵子

下島資子さんは、発病されてから暫くJIDの活動から遠のいておられましたが、1年前より関東支部事業委員会委員長として復帰して活動再開されていました。ある時、「自分は爆弾を抱えているので何かあった時には副委員長として助けて欲しい」とのご依頼に、僭越ですが副委員長をお引き受け致しました。

下島さんは「JIDがエンドユーザーの意識を高めることで、日本の住環境は変わる。JIDの認知度を高め、インテリアデザイナーの必要性を理解してもらわなくては」とOZONEとの初共催でエンドユーザー向けのリフォームセミナーを企画しました。「リフォームは人の生き方を変えることができるのよ萩原さん」と明るくパワフルな声でおしゃっていました。其のセミナーの3回目でした、咳が停まらないので検査をするということで欠席され、「肺に水がたまった」という報告を受けましたが、下島さんはいつもの明るい声で「水をとったら大丈夫なの」とセミナーの係りひとりひとりに電話で色々指示を出し、病院を抜け出し現場に出かけたり、まさか其の数日後にこの世を去る程の深刻事態とはおよびもつきませんでした。しかしながら亡くなられた今思い起こすと、「萩原さんに御願いしてジャスト半年でしたね。」「私の部屋はいつ、何時でもきちんと整理されています。机の上のノートも鉛筆もきちんと削り揃えて整理してある」と、何気ない会話あちこちにメッセージがちりばめられていたことに気がつきます。まるで御自分の人生を整理し、時間のないことをご承知だったかのように……。

死と向かい合ってもなお、御自分の葬儀のイメージスケッチをしていらしたと伺い、潔い人生の締めくくりと、下島さんの品格を感じました。

下島資子さんの御冥福をお祈り致します。

JID news

企画・編集：本部情報委員会

JID News 担当理事 清家淳一

JID News 委員長 八十常充

// 委員 山崎晶

// 関東事業支部 佐藤健一

// 中部事業支部 小林修

// 関西事業支部 塚口眞佐子

// 九州事業支部 下田隆

——あとかき——

今回の耐震強度偽装問題は設計を業とする立場では有ってはならない事件である。

建物の見えない部分を骨抜きにして建築コストを抑え表面には石貼りで化粧を施し、仮に内部に異常が起きても表面からは容易に発見できない。専有面積の広さや立地を売り物にし、表面上を整えた悪徳商法は許せない。

製造メーカーは販売した商品に欠陥があった場合リコールを行って責任を明確にしている。

建築の構造的問題は一般の生活者には容易に気付かない事をいい事にしていた業者のモラルが問われる。又、建物の安全性についての責任の所在が不明確な仕組みを放置していた監督官庁や建築業界の姿勢も大いに問われるところである。

今回の事件を他山の石とすべきでない、デザインは人々の為、生活に潤いと本当の豊かさが実現出来る仕事を通じて社会に貢献したいと思う昨今です。

八十常充

*情報委員会では JID News 編集メンバーを募集しております。興味のある方は八十までご連絡下さい。

No.230

発行日：平成17年12月20日

編集デザイン：西尾直事務所
印刷：株式会社岡本印刷所